

2年生管内事業所見学会

10月24日(金)に宮古管内の事業所において管内事業所見学会が行われました。陸中建設株式会社様、宮古市社会福祉協議会様、パンチ工業株式会社様、休暇村陸中宮古様を訪問し、業務内容や様々な仕事、働くことについて教えていただきました。まだ、漠然としか考えていなかった自分の将来について、考える契機となったようです。今回の経験が、必ず来年の進路選択の一助となることでしょう。今回お世話になりました事業所の皆様、大変ありがとうございました。



登校時一声運動・マナーアップ運動

10月16日(木)～17日(金)に朝の挨拶運動を実施しました。生徒会、PTA、警察、地域自治体の方々とともに、登校してくる生徒に挨拶をし、爽やかな1日の始まりを演出していました。警察の方からは薬物乱用に対する注意喚起のチラシも配付されていました。生徒の方は照れもあったのか、初めて会う方に緊張したのか少し声が小さかった印象でした。先手必勝で大きな挨拶ができるようになりました。参加していただいた外部の皆様、ありがとうございました。



令和7年11月28日

11月号

発行:宮古北高等学校

二学年修学旅行

十二月十日(水)～十三日(土)の三泊四日で二学年が修学旅行に行ってきました。京都・奈良・大阪の名所を巡ると共に、十一日は自主研修で班ごとに京都市内を巡ります。三年間の高校生活で大きなイベントの一つです。今から体調管理をしっかりして、楽しい思い出を作ってください。その模様は十二月号でご紹介します。

新人大会&市民大会バドミントン

十月二十五日(土)に奥州市総合体育館において県新人大会が開催されました。本校からは一年金子修矢かねこしゅうやさんがシングルスに出場しました。残念ながら初戦敗退でしたが、練習の成果を発揮できた部分もあったようです。高校から初めて、県大会に出場できたことは、それだけでも快挙かと思えます。日々の練習をコツコツと積み重ねてきたからこそ成し遂げられたこと。今後も謙虚に練習に励んでもらい、今回の成績を上回る結果を残してほしいです。

また、十一月三日(月)には宮古市民体育館で開催された市民体育大会に、顧問の工藤覚志先生くどうさくしとペアを組みダブルスに出場しました。日頃の練習の成果を発揮して、決勝トーナメントまで進出する健闘を見せてくれました。金子さんは「初めてのダブルスだったけどすごく楽しかった」と話してくれました。今後のバドミントン部の活躍にさらに期待大です。



宮北の森⑧

一月二十六日(水)に宮北の森が行われました。八回目となる今回は、図書委員会の皆さんから、おすすめの本とその理由、図書館利用促進について話がありました。最初に図書委員長である三年の眞田悠史まなひさしさんから、委員長になった経緯とおすすめの本をユニークで紹介していただきました。因みに眞田さんのおすすめの本は、汐見夏衛作の「あの夏の君を探して」とのことでした。他の委員からもおすすめの本を紹介していただきました。デジタル全盛の現代だからこそ、活字に親しむ必要があると思います。空き時間を利用して図書館へ行ってみましょう。



明るい選挙啓発授業

十一月二十一日(金)に「明るい選挙啓発授業」が開催されました。近年の選挙の投票率が特に若年層において低下傾向にあることが問題となっている中、将来の有権者である生徒に選挙や政治に関心を持ってもらうことを目的に、宮古市選挙管理委員会事務局及び岩手県明るい選挙推進協議会の協力の下毎年行っています。主権者教育アドバイザーの藤井剛ふじいこう様から講義をいただきグループワーク後に模擬選挙を行いました。生徒達は真剣な表情で臨んでいました。この経験を生かし有権者となった暁には、積極的に選挙に行ってくださいと思います。



タロウインボランティア

十月二十六日(日)道の駅たろうにてタロウインが開催され、本校生徒がボランティアとして活躍してくれました。奉仕の心溢れる宮北生、自分たちも楽しみながらイベントの盛り上げ役として活躍していました。今後も地域のニーズに応じて、様々なボランティア活動を実践していきます。



お知らせ

学校ウェブページ、ノートのページへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

学校ウェブページ



ノートのページ



【編集後記】

感染症が猛威を振るっています。一九八一年七月から統計を取り始めましたが、一定点医療機関あたりの患者数が83・43人と過去最高とのことです。この数値は一つの医療機関が一週間にインフルエンザ患者を何人診療したかのことです。今年は早くから流行り始めたので、県内の教育機関も学級、学年閉鎖が相次いでいます。手洗い、うがいなど基本的な予防と、食事、睡眠等の生活リズムを安定させて乗り切りましょう。令和七年十一月二十八日 文責 宮古北高校副校長